

一応供覧	文書分類	保存年限	1 3 5 10 永	
議長	局長	書記	主任	担当
				

1号様式

令和6年8月21日

津南町議会議長 様

議席番号 3 番

津南町議会議員 村山 郁夫



一般質問の通告について

令和6年9月5日開会の第3回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1 財産の保有状況と建築物定期調査委託の結果について	<p>平成29年3月策定された「津南町公共施設等総合管理計画」、令和3年3月策定の「津南町公共施設個別施設計画（以下、【個別計画】と表示）」令和6年3月改定の「津南町公共施設等総合管理計画」（以下、【改定計画】と表示する。）に関して町の姿勢を質問する。</p> <p>1 個別計画では対象としなかった「廃止する計画がある建物」（P1）は何であったか。また、それは計画通り廃止できているか伺う。</p> <p>2 個別計画のP18以下に示す安全性評価結果の対象施設について、新耐震基準による建築物においても法定の定期点検があるが、点検の中で基礎、柱、外壁、屋根等躯体の不具合が報告され</p>	町長



※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。

2号様式

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
<p>2 長寿命化と処分する施設の選別</p> <p>3 人口減による施設の機能的・物理的余剰</p>	<p>たものはあるか、あったとすればその内容は何か伺う（設備は除く）。</p> <p>1 旧耐震基準の施設のうち耐震診断未実施の次の施設について、今後どのように扱っていくのか伺う。</p> <p>①旧東北電力サービスセンター ②旧東北電力陣場下社宅 ③旧消防津南分遣所 ④岡倉庫 ⑤船山民俗資料館 ⑥〃 収蔵庫 ⑦〃 古民家 ⑧津南町克雪管理センター ⑨津南病院医師住宅9号棟</p> <p>2 財産処分可能な施設は、収蔵されている物品を整理して空き家バンクに登録することはどうか伺う。</p> <p>改定計画における歳入歳出試算の中で、令和7年以降高齢者人口が生産年齢人口を上回り、人口総数も今後20年をまたずに6600人台になると示している。だとすれば、かつて高度成長期の人口構成比で整備してきた公共施設等は、その規模と数量に余剰が生ずることにな</p>	

り、経過年数も重ねるなかで劣化していく。

そのため、管理計画の基本は、現状の施設をそのまま維持更新する場合を想定してスタートするのではなく、まず余剰の規模・機能と数量を削減することを主眼として、安易に長寿命化を掲げることなく組み換え、今後計画の見直し時期に明確にしていく考えはないか伺う。

4 公共施設の総量
規制とそのための
財源措置

改定計画（P30～）による費用試算では、現状のままの施設数量を更新維持する場合、長寿命化を実施して費用を縮減した場合でも年間の維持管理費は、過去5年間の年平均額7.5億円であるものを1.5倍程度見込まなければならないとしており、財源不足を補うためには3割程度の施設の総量を縮減する必要性があるとしている。

これについては普通財産である施設の縮減はもとより、行政財産である学校や保育園、保健施設、医療・福祉施設などの公共用財産をも対象として総量を減らすことが求められるが、統廃合により整理するとしてもその整理に係る費用の捻出は困難であり、集約化・複合化で見込める起債とその交付税措置だけでは財政不安を将来的に残す。

従って、今のうちから基金等により毎

<p>5 公共施設の整理 統合時に基本とする 考え方</p>	<p>年定額を予算措置し、計画が定まった施設から順次取壊しができるよう対応すべきと考えるがこれについてどうか伺う。</p> <p>津南町が今後も存続していくためには、施設の総量を規制して財政安定化を図る必要がある。</p> <p>この計画が目指す目標は町の存続であり、そのために福祉・医療保健、保育教育、観光分野等においても整理統合を議論する場合には、メリット・デメリットの議論も重要ではあるが、議論のベクトルは町の存続に向いていなければならない。その観点を外さないことがまちづくりの方向性を定める重要な要素であると考え、所感を伺う。</p>	
--	---	--

※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。